

GSRC seminar

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research
Institute

細胞老化による肺修復変容と病態形成

細胞病態研究部
杉本 昌隆 部長

2026年5月28日（木）14時10分～
第1研究棟2階大会議室

加齢に伴い、肺では呼吸機能の低下や組織構造の変化が生じる。COPD、特に肺気腫では肺胞構造の破壊が主要な病態とされてきたが、損傷後の修復応答がどのように変化するのかという視点も重要である。近年、細胞老化は加齢関連病態の基盤として注目されているが、老化細胞が肺の修復応答や病態形成にどのように関与するのかについては、なお不明な点が多い。

本セミナーでは、老化細胞除去モデルおよび肺障害モデルを用いた解析を中心に、細胞老化が肺修復応答をどのように変容させるのかを紹介する。特に、老化細胞由来因子が肺前駆細胞の機能や分化応答に及ぼす影響、さらにその制御を介した肺修復促進の可能性について議論する。これらの知見を通じて、肺気腫を肺胞構造の破壊だけでなく修復応答の変容という観点から捉え、細胞老化を標的とした新たな介入戦略について考えたい。